野辺地小学校改築工事設計業務 総合評価報告書

令和6年11月

野辺地町教育委員会

野辺地小学校改築工事設計業務 技術提案書審査委員会

1. 入札結果

落札者 株式会社 石川設計

2. 選定概要

(1)選定方法

野辺地町立野辺地小学校改築工事設計業務においては、野辺地町統合小学校新築事業基本構想（令和6年5月策定）で掲げる3つのコンセプトと全15の基本方針に基づき、高度な技術又は専門的な知識を有し、柔軟な発想力を有する設計者を選定するため簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）を採用した。

野辺地町立野辺地小学校改築工事設計業務 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）（以下、「総合評価方式」という。）における技術提案の審査に当たっては、野辺地小学校改築工事設計業務 技術提案書審査委員会（令和6年 野辺地町教育委員会告示第3号 以下、「審査委員会」という。）による審査を行った。

(2)参加表明者

4者

(3)参加表明書の審査

参加表明者から提出された書類により、専門分野の技術者資格や同種又は類似業務の実績等の着目点において、資格及び技術力の評価を行った。

「野辺地小学校改築工事設計業務簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）入札参加者指名及び技術提案書評価要領」に基づき、上記の4者を入札参加者として指名した。

(4)技術提案の審査

提出者された技術提案書をもとに、資格・技術力に加え、業務の理解度及び取り組み意欲や業務の実施方針、入札説明書に基づく3つの評価テーマに対する技術提案などの業務実施方針及び手法の評価を行った。

評価に当たっては、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、技術提案書を提出した4者について個別にその技術提案を審査した。

(5) 審査委員会の組織

(敬称略)

役職	氏名	所属等
委員長	馬渡 龍	第3条第2項第4号委員（学識経験者又は見識を有する大学教授等） 八戸工業高等専門学校准教授 博士（工学） 専門分野：建築計画、建築デザイン
副委員長	小野 淳美	第3条第2項第1号委員（野辺地町教育委員会教育長）
委員	江刺家 和夫	第3条第2項第2号委員（野辺地町業者指名審査会長） 野辺地町 副町長
委員	木村 典克	第3条第2項第3号委員（野辺地町統合小学校新築事業検討委員会委員） 検討委員会委員長、野辺地小学校 校長
委員	木戸 忠勝	第3条第2項第3号委員（野辺地町統合小学校新築事業検討委員会委員） 野辺地町議会 代表選出委員
委員	山崎 貢	第3条第2項第5号委員（学識経験者又は見識を有する建築士等） 青森県建築士会野辺地支部 支部長、ヤマ設計事務所代表、一級建築士

3. 実施スケジュール

	項目	期間等
1	募集開始（公告、設計図書及び契約書案の縦覧）	令和6年10月11日（金）から 令和6年11月8日（金）まで
2	参加表明書 に係る質問受付期間	令和6年10月11日（金）から 令和6年10月17日（木）まで
3	参加表明書 に係る質問の回答期限	令和6年10月18日（金）まで
4	参加表明書 提出期間	令和6年10月11日（金）から 令和6年10月21日（月）まで
5	入札参加者の指名通知	令和6年10月23日（水）
6	技術提案、入札 に係る質問受付期間	令和6年10月23日（水）から 令和6年11月1日（金）まで
7	技術提案、入札 に係る質問の回答期限	令和6年11月6日（水）まで
8	技術提案書 等提出期間	令和6年10月23日（水）から 令和6年11月8日（金）まで
9	技術提案プレゼンテーション及びヒアリング	令和6年11月12日（火）
10	入札執行及び開札日	令和6年11月19日（火）

4. 総合評価結果

業者名			株式会社 熊澤建築 設計事務所	株式会社 川島隆太郎 建築事務所	株式会社 石川設計	株式会社 八洲建築 設計事務所	
技術評価点	資格・技術力	資格	10.00	7.60	10.00	10.00	
		技術力	25.00	25.00	25.00	25.00	
	技術評価点の内訳	業務実施方針及び手法	業務の理解度 及び取組意欲	8.67	5.67	8.67	7.00
			業務の 実施方針	7.67	5.67	8.00	7.33
			評価テーマ に対する 技術提案	32.50	22.50	34.00	28.50
	合計			83.84	66.44	85.67	77.83
	技術評価点 (A)			50.3040	39.8640	51.4020	46.6980
価格評価点	予定価格		¥ 220,053,900				
	入札書比較価格		¥ 200,049,000				
	最低制限価格		¥ 154,037,730				
	最低制限比較価格		¥ 140,034,300				
	入札価格		¥ 163,000,000	¥ 156,804,350	¥ 156,800,000	¥ 157,000,000	
	落札率		81.48%	78.38%	78.38%	78.48%	
	価格評価点 (B)		11.1119	12.9702	12.9715	12.9115	
評価値 (A) + (B)			61.4159	52.8342	64.3735	59.6095	

5. 審査委員会 委員長講評

野辺地小学校改築工事設計業務は《総合評価方式》による設計者選定を採用した。今回の総合評価方式は、技術提案書審査委員会（審査委員会）において参加表明者による技術提案を採点した結果を〈技術評価点〉、参加表明者が入札により示した入札額を〈価格評価点〉とし、《技術評価点》と《価格評価点》を総合して落札者を決定する方法であった。

まず、《技術評価》は、令和6年11月12日に審査委員会を開き、参加表明者4者による技術提案プレゼンテーション及びヒアリングを行い、6名の審査員による採点結果、株式会社石川設計が最高点を獲得し、株式会社熊澤建築設計事務所が僅差で次ぐ形となった。

つぎに、《価格評価》は、令和6年11月19日に参加表明者4者による入札が行われ、技術評価でも最高点を獲得した株式会社石川設計〈価格評価点〉が最高点を獲得し、落札者として決定した。

落札者である株式会社石川設計は、町が示した設計と条件に対して、誠実かつ真摯に解こうとする建築家としての姿勢が感じられる技術提案であった。配置計画は、敷地東側（現在のグラウンド側）の北側を2階建て「校舎」、南側を「グラウンド」とし、敷地西側（現在の校舎側）の北側を「児童館」、南側を「駐車場」とし、東西に走るメインアプローチがこれら4つの機能をつなぐ明快な構成である。校舎はメインアプローチに接続する南西側を昇降口とし、内部は1階が〈陽だまりラウンジ〉、2階が〈わっかストリート〉と称するオープンスペースを中心に、学習空間が南北に展開するコンパクトな計画が高く評価された。

いっぽう、学校の建築計画では動と静の空間の両立が必要なこと、児童館の着工が既存校舎の解体後となり開館に遅延が生じること、3か所に分散した駐車場の管理、芝生広場の取り扱いなど、審査委員会でも指摘された事項については、今後ユーザー側との対話を重ね最適な答えを探してほしい。

本事業は、急速に進む少子化による児童数減少と既存校舎の老朽化を背景に、野辺地小・馬門小・若葉小を統合する計画である。しかし令和10年度の校舎共用後、数年後には現在の半分近くにまで児童数が減少する見込みである。改築事業の遂行にあたっては設計者が指揮をとり、長期的な視点に立ち、将来の野辺地町を担う子どもたちを、健やかでおおらかに育くむ素敵な校舎づくりを目指してほしいと願っている。

野辺地小学校改築工事設計業務 技術提案書審査委員会

委員長 馬 渡 龍